

第11回 K. CATフォーラム

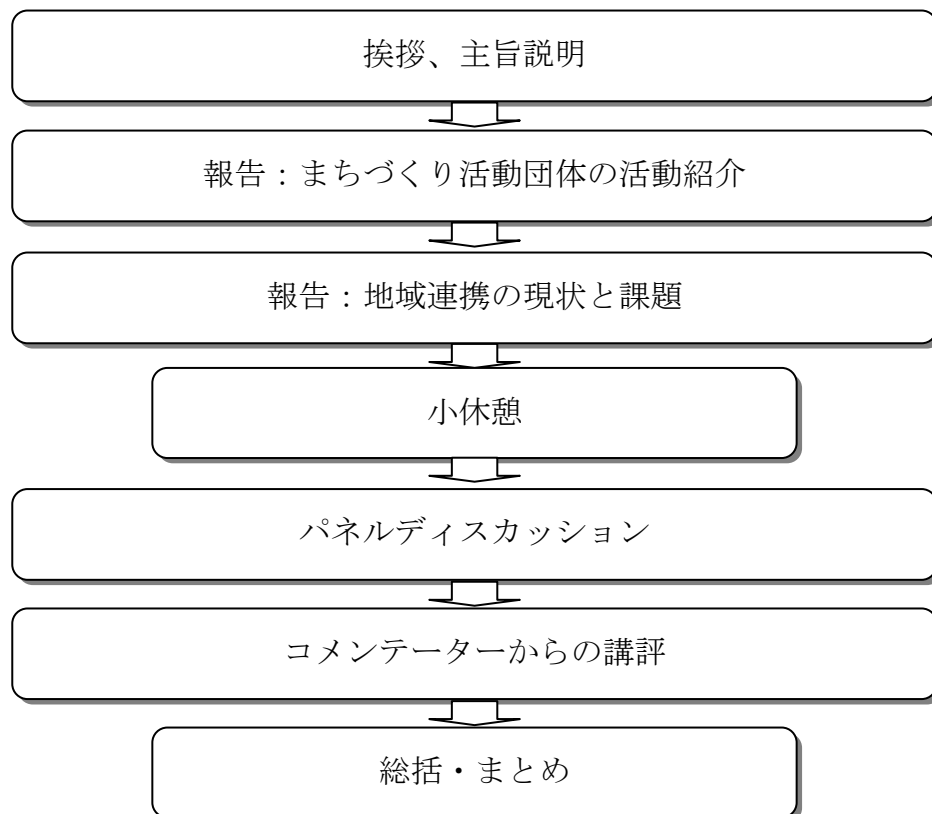
北陸連携によるまちづくりを考える ～ 接続型都市圏の形成をめざして ～

北陸三県は、10万～50万人規模の都市が連担した、細長い接続型の地域となっています。豊かな自然環境と多彩な文化を有し、日本一暮らしやすい地域の一つと言われています。

しかし、少子高齢化や地方衰退の大きな流れの中にあるのも現実です。中枢都市を持たない本地域が、その特色を活かし活性化していくには、歴史的にもつながりの強い三県が連携することが不可欠です。

そこで、フォーラムの開催を通して、福井、富山、石川におけるまちづくりの人的連携の輪を広げるとともに、まちづくりの地域連携のあり方を探ります。

フォーラムの流れ



<http://www.k-cat.jp/> E-mail: info@k-cat.jp

K. CATのこれまでの提案内容や提言書などをHPに掲載しています。どうぞご覧ください。

出演者のプロフィール

●コーディネーター

高山 純一 K. CAT代表、金沢大学環境デザイン学系教授

金沢生まれの金沢育ち、大学も金沢なので金沢以外に住んだことがない生粋の金沢人です。普段は外部の委員会や協議会などの関係で自動車利用が多いが、極力、飲み会を増やして電車、バス通勤に努めています。交通まちづくりを研究テーマとして、頑張っています。

●パネリスト

加藤 哲男 福井地域環境研究会（REF）会長、名古屋産業大学環境情報ビジネス学部教授

福井市生まれ、1973年福井県技術吏員採用、同年福井大学本多義明先生の主宰する福井交通研究会に加入。1979年に福井地域環境研究会(REF)の設立に参加。2001年から現職。近年は社会基盤整備研究に携わり、中国の浙江建設職業技術学院で客員教授などを務めています。

山下 久美子 NPO法人Nプロジェクトひと・みち・まち 事務局長、イー・プラネット 代表

富山県高岡市生まれ。東京でビオトープ・環境保全の仕事を行い、生態系を生かした地域づくりをしたいとUターン。仲間とNPO法人を設立し、「自転車 de 地域デザイン in 高岡」を提案して富山県との協働事業を展開。現在は富山市の街なかに越し、新たなネットワーク紡ぎ中です。

辻 匡 K. CATメンバー、辻商事株式会社代表取締役

金沢生まれの金沢育ち。神奈川県自動車メーカーに入社し、電気自動車の電池制御システムの開発に10年を費やしました。建材卸の家業に戻り、想定を超えた苦境に転じて10年。金沢青年会議所での活動をきっかけに様々な場で人と出会い、まちづくりに興味を持つようになりました。

木谷 弘司 K. CATメンバー、金沢市都市政策局交通政策課担当課長

平成に入ってこのかた都市計画と交通政策に関する仕事に携わり、酸いも甘いも含めて金沢のまちづくりが仕事です。最近では、全国の大学の先生方との研究活動も行っており、いろんな街を見て歩きマニアックな写真を撮ることが楽しみという、仕事と趣味の区別がつかない生活をしています。

●コメンテーター

蓮見 有敏 国土交通省金沢河川国道事務所長

金沢に来て約3年がたちました。暮らしやすさで日本一と言われる北陸ですが、住んでみて確かにそうだなと実感しています。仕事上まちの歴史を知ることは必須なので、時間があればあいかわらず図書館通いと実地調査（観光？）に励んでいます。

酒井 毅 財団法人北陸経済研究所 地域開発調査部担当部長

富山県滑川市生まれ。1965年北陸銀行入行。旭川大町支店長、金沢駅西支店長、法人営業部副部長、地域開発推進室長を歴任し、1993年北陸経済研究所入所、地域開発調査グループ長、地域開発調査部長を経て、2005年より現職。